

2012年6月19日

各 位



東日本大震災被災地でのボランティア活動の現状について

積水化成工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4、社長：小野恵造）では、グループ全社を挙げて、被災地復興に対するボランティア活動を推進しています。今回、グループ員有志によるボランティア活動を企画し（宮城県南三陸町にて6月2日～3日）、40数名で瓦礫の撤去などの作業にあたりました。現在の被災地状況については、時間が経過するほどボランティア活動者が減少しており、ますます厳しい状況におかれているのが現状です。

東日本大震災からすでに1年3カ月余りが経過しました。当初は被災地へ日本全国から混乱するほど多数来ていた災害支援ボランティア活動者が、最近では平日はもとより土曜・日曜でも集まる人数が少ない状況です。復興の道半ばの被災地では、まだまだ手つかずの場所も数多くあり、現地ボランティアセンターでは継続した活動支援を呼びかけています。また、テレビ等のマスコミ報道では伝わらない「現地の状況や感じたこと」を是非、皆さんから身近な人に伝えてください、と切に訴えられました。

当社グループとしても、従前より支援の一環として、救援物資の寄贈や義援金の寄付をはじめ、年間を通じたボランティア活動を行ってまいりましたが、時間が経過するほど減少していく現状を目の当たりにしますと、より多くのグループ員にボランティア活動を体験してもらい、社会貢献活動への参画意識を高めるため、今こそさらなる支援活動を継続的に行うことの重要性を認識させられました。

今後も現地の状況を伝えることの役割と、被災地の一日も早い復興の一助となるよう活動を続けてまいります。



以上

<お問合せ先>

積水化成工業株式会社 東京総務グループ（広報）

TEL03-3347-9615 E-mail : m01271@sekisuiplastics.co.jp